

令和6年度 中央区地域力向上事業(助成事業) 事後評価【東地域】

No.	事業名	団体名	評価					総事業費	市執行額 (補助金額)	採択回数
			達成度	活用度	貢献度	支援の 妥当性	費用対 効果			
1	報徳運動の漫画本の作成と配付	報徳運動推進協議会	B	B	A	B	B	2,069,059円	1,000,000円	1回目
2	2024サマーソフトテニス フェスティバルin安間川公園	与進ソフトテニスクラブ	B	A	B	B	B	95,397円	47,000円	1回目
3	なかのまちのお話し会	中野町を考える会	A	A	A	A	B	142,712円	71,000円	1回目
4	FAMIFES・はままつ FAMILYマルシェ	FAMIFESコミュニティ	A	A	A	B	B	704,765円	352,000円	1回目
							合計	3,011,933円	1,470,000円	

地域力向上事業の評価基準について

評価項目	評価		
事業目的の達成度	A 高い	B 普通	C 低い
地域資源の活用度	A 高い	B 普通	C 低い
地域への貢献度	A 高い	B 普通	C 低い
財政支援の妥当性	A 高い	B 普通	C 低い
費用対効果	A 高い	B 普通	C 低い

助成事業 No. 1

＜ 令和6年度 ＞ （ 中央区 東行政センター ）

(1)事業名	報徳運動の漫画本の作成と配付	(2)採択回数	1回目 (補助率50%以内)									
(3)実施団体名	報徳運動推進協議会											
(4)事業の目的	・報徳の(至誠・勤労・分度・推譲)心を育み、有能な人材を輩出する。											
(5)事業の成果 (内容)	<p>・浜松市に影響を与えた二宮金次郎の報徳思想を広めるために、金次郎の「何事も一生懸命努力する」「思いやりの気持ちを大切にする」漫画本を作成し、東地域の全小学校、企業、団体に配布した。</p> <p>【冊子の概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">題名</td> <td>親子で学ぶみんなの二宮金次郎</td> </tr> <tr> <td>体裁</td> <td>A4判/グレースケール/全70ページ</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <p>【漫画編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56ページで構成 ・二宮金次郎の人生と報徳精神について紹介している。 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9ページで構成 ・ワークシート並びに二宮金次郎関連年表及び関連史跡等が掲載されている。 </td> </tr> <tr> <td>発行部数</td> <td style="text-align: center;">3,000部</td> </tr> </table>				題名	親子で学ぶみんなの二宮金次郎	体裁	A4判/グレースケール/全70ページ	内容	<p>【漫画編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56ページで構成 ・二宮金次郎の人生と報徳精神について紹介している。 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9ページで構成 ・ワークシート並びに二宮金次郎関連年表及び関連史跡等が掲載されている。 	発行部数	3,000部
題名	親子で学ぶみんなの二宮金次郎											
体裁	A4判/グレースケール/全70ページ											
内容	<p>【漫画編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・56ページで構成 ・二宮金次郎の人生と報徳精神について紹介している。 <p>【資料編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9ページで構成 ・ワークシート並びに二宮金次郎関連年表及び関連史跡等が掲載されている。 											
発行部数	3,000部											
(6)総事業費	2,069,059円	(7)補助金額	1,000,000円									
(8)評価	項目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	普通	低い								
	2 地域資源の活用度	高い	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	普通	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	普通	低い								
5 費用対効果	高い	普通	低い									
(9)意見等	<p>・人材の輩出という事業目的は長期的なもののため、事業目的の達成度の評価は現時点では普通でよい。</p> <p>・報徳の精神を持つ二宮金次郎の弟子たちが浜松市域で活動したことは紹介されているが、二宮金次郎本人が浜松に滞在したことはないので地域資源の活用度は普通になる。</p> <p>・東地域にゆかりのある人物や場所が登場することから地域への貢献度は高い。</p> <p>・郷土の誇りの醸成に資する事業であり、作成した漫画本についても今後の活用が期待できる。</p> <p>・今後また冊子を発行することがあれば、表記の誤りがないように製版前の確認を徹底してほしい。</p> <p>・今後重ねて事業を提案することがあれば、今回配布した漫画本への小学生等の読者からの感想を踏まえて、内容に反映することを期待する。</p>											

第10号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	報徳運動の漫画本の作成と配付
事業主体名	報徳運動推進協議会
実施時期	令和6年7月 1日（月） ～ 令和6年12月 27日（金）
実施場所	浜松市内
参加人数	団体スタッフ 10名、参加者 30名
事業の内容	<p>*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。</p> <p>浜松市に影響を与えた二宮金次郎の報徳思想を広めるために、金次郎の「何事も一生懸命努力する」「思いやりの気持ちを大切にする」漫画本を3,000部を作成し、東地域を主体に全小学校や企業、団体に配布した。</p>
事業目的の達成度	<p>*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。</p> <p>漫画作成に当たり、小学生レベルの語句、表現の協議、導入や展開などの検討、描き直しにかなりの時間を要したが、多くの皆様のご教示をいただき大変満足のいける作品となった。</p>
地域資源の活用度	<p>*区内のどのような地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）をどの程度活用できたか記入してください。</p> <p>松島十湖、金原明善、山下青斥、天竜川、各小学校の金次郎像、市歌の回りに特産物などを掲載できた。来年度は小学校のアンケートやだるま市など東地域を中心とした活動などを深掘する二部作目を作成したい。</p>
地域への貢献度	<p>*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。</p> <p>二宮金次郎像を通じて、報徳（至誠・勤勉・分度・推譲）の心を大切に生活することを保護者や企業に認識していただき、各小学校の出前講座の依頼を期待している。</p>
財政支援の妥当性	<p>*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。</p> <p>「報徳」の言葉自体が風化されているので、個人商店や農業に対する認識を深めることができた。</p> <p>助成金は出版費用で活用しているが、本の増版を考えると将来的には難しくなるが、次年度の申請で許可を頂ければ実施したい。</p>
費用対効果	<p>*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうであったか記入してください。</p> <p>与進小学校では30分近く黙って読んでいた。資料内容の良さを改めて実感した。また企業からはメッセージ性の伝わりやすさも絶妙と高評価をいただいた。</p>
今後の方向性	<p>*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。</p> <p>だるま市（当時は十日市）に関わった笠井報徳社の大木随地などの報徳人を紹介したいので、継続事業を希望します。</p>
備考	

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	1,000,000	1,000,000			地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	2,069,059	2,000,000	69,059		

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)	
			増	△減		
委託料	495,000	400,000	95,000		企画、デザイン、編集	
需用費	印刷製本費	1,511,400	1,290,800	220,600	原稿印刷、同時印刷、コピー	
	消耗品	35,659	155,200		△119,541	封筒、文房具など
役務費	郵送料	26,450	154,000		△127,550	切手
	手数料	550		550		利用手数料
計	2,069,059	2,000,000	316,150	△247,091		

助成事業 No. 2

< 令和6年度 > (中央区 東行政センター)

(1) 事業名	2024サマーソフトテニス フェスティバルin安間川公園	(2) 採択回数	1回目 (補助率50%以内)									
(3) 実施団体名	与進ソフトテニスクラブ											
(4) 事業の目的	<p>・令和8年9月に控えた中学校部活動の休日の活動の地域移行(以下、「地域移行」と表記)を見据えて、地域クラブ活動を進めている。既に休日部活動の地域クラブ化を進めている与進クラブ、笠井クラブを中心にその他公立4中学校区でも同様に地域移行を促進し、かつ、それぞれのクラブ間の交流の活性化を進めることを目的とする。</p>											
(5) 事業の成果 (内容)	<p>・中央区東地域の小中学生を対象としたソフトテニスのイベントを開催した。 ・与進クラブに属する児童の保護者がイベントの運営を主に担い、地域移行の第一歩を踏み出すことができた。</p> <p>【イベントの概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">イベント名</td> <td>2024サマーソフトテニスフェスティバルin安間川公園</td> </tr> <tr> <td>実施時期</td> <td>令和6年8月18日(日)9~17時</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>安間川公園テニスコート</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前衛、後衛に分かれての練習 <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女別ダブルスのトーナメント戦 ・初戦敗退者はコンソレーション(敗退者による親善試合)を実施 </td> </tr> </table>				イベント名	2024サマーソフトテニスフェスティバルin安間川公園	実施時期	令和6年8月18日(日)9~17時	実施場所	安間川公園テニスコート	内容	<p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前衛、後衛に分かれての練習 <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女別ダブルスのトーナメント戦 ・初戦敗退者はコンソレーション(敗退者による親善試合)を実施
イベント名	2024サマーソフトテニスフェスティバルin安間川公園											
実施時期	令和6年8月18日(日)9~17時											
実施場所	安間川公園テニスコート											
内容	<p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前衛、後衛に分かれての練習 <p>【午後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女別ダブルスのトーナメント戦 ・初戦敗退者はコンソレーション(敗退者による親善試合)を実施 											
(6) 総事業費	95,397円	(7) 補助金額	47,000円									
(8) 評価	項 目	ランク										
		A	B	C								
	1 事業目的の達成度	高い	(普通)	低い								
	2 地域資源の活用度	(高い)	普通	低い								
	3 地域への貢献度	高い	(普通)	低い								
	4 財政支援の妥当性	高い	(普通)	低い								
	5 費用対効果	高い	(普通)	低い								
(9) 意見等	<p>・地域の団体である与進クラブが発意取り組んだ事業であり、参加者も東地域の小中学生であったことから、地域資源の活用度は高い。</p> <p>・地域移行による教職員の部活動に係る負担軽減は、質の高い学校教育の確保につながる。</p> <p>・部活動の地域移行は、地域全体で取り組むべき課題であり、その課題にチャレンジしたことは評価できる。</p> <p>・より地域に開かれたイベントとし、ソフトテニス部所属の生徒だけでなく、地域の初心者も含めてソフトテニスに触れ合う機会としての発展を期待する。</p>											

第11号様式（第10条関係）

事業実績書

事業名	2024 サマーソフトテニスフェスティバル in 安間川公園
事業主体名 (共催、後援、協力等)	サマーフェスティバル実行委員会 (運営：与進ソフトテニスクラブ・笠井ソフトテニスクラブ) (協賛：東海ビル管理(株)・(株)シラトリスポーツ・ヨネックス(株)・セブンイレブン浜松豊西店)
実施時期	イベント実施 令和6年 8月 18日(日) 期間 令和6年7月(日)(月) ~ 令和6年8月31日(土)
実施場所	浜松市中央区安新町 安間川公園テニスコート(6面)
参加人数	団体スタッフ 28名、参加者 88名
事業の成果 (内容) (チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付)	<p>*具体的に記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧東区の小中学生対象のソフトテニスイベントを開催 日時：8月18日(日)9～17時 会場：安間川公園テニスコート(人工芝3面・クレー3面) 参加者：88人(うち8人は午前中のみ参加(無料)) 当初見込み100人(△22人) 炎天下の中、みんな笑顔でソフトテニスを楽しんだ <p>運営：主なイベント運営は与進クラブの保護者が実施 保護者が部活動地域移行の第1歩を踏み出せた 成果：中郡中の保護者会とのネットワークが可能となった 新聞記事：各方面で問題があると判断した為自粛した その他：炎天下の中、多くの方の訪問があった</p> 
備考	

第12号様式(第10条関係)

収支決算書

1 収入の部

単位:円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	47,000	50,000	0	-3,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり助成事業費補助金)
計	95,397	100,000	0	-4,603	

2 支出の部

単位:円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	0	10,000	0	-10,000	ヨネックス選手が来れなくなった
消耗品	82,197	76,800	5,397	0	賞品48,000円 抽選会景品代8,921円 参加賞20,908円 ボール代4,368円 ※試合球
使用料及び賃借料	13,200	13,200	0	0	会場費13,200円 550円×24面
			0	0	
			0	0	
			0	0	
計	95,397	100,000	5,397	-10,000	

※練習球は与進クラブ資金にて購入
 ※協賛企業が少なかった為 抽選会景品を購入

助成事業 No. 3

＜ 令和6年度 ＞ （ 中央区 東行政センター ）

(1) 事業名	なかのまちのお話し会	(2) 採択回数	1回目 (補助率50%以内)																
(3) 実施団体名	中野町を考える会																		
(4) 事業の目的	<p>・昔の町の姿、戦争の歴史や町の産業の発展及び衰退をより正確に後世に伝える。トークイベントを通して、生活者目線のリアルな地域資源を整理及び記録する。</p>																		
(5) 事業の成果 (内容)	<p>・中野町在住の佐口ふさ子さん(94歳女性)を語り部として招き、参加者が彼女の昔語りを聴講する会(全2回)を催した。 ・小学生向けの冊子を作成した。中野町小学校における総合学習の時間に副読本として活用できる。</p> <p>【イベントの概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">回</th> <th style="width: 45%;">第1回</th> <th style="width: 45%;">第2回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">日時</td> <td>令和6年10月20日(日)13時30分～15時</td> <td>令和6年11月10日(日)13時30分～15時</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">会場</td> <td>中野町所在の飲食店「食処 楓」</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参加人数</td> <td>24名</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">講話内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・戦前から戦後の日々の暮らし ・材木屋の好景気に沸いた時代 ・天竜川での生業 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・多くのお店で賑わったまち ・戦争体験談 ・戦時中の暮らし ・東南海地震及び台風豪雨の記憶 </td> </tr> </tbody> </table>				回	第1回	第2回	日時	令和6年10月20日(日)13時30分～15時	令和6年11月10日(日)13時30分～15時	会場	中野町所在の飲食店「食処 楓」	同左	参加人数	24名	26名	講話内容	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前から戦後の日々の暮らし ・材木屋の好景気に沸いた時代 ・天竜川での生業 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのお店で賑わったまち ・戦争体験談 ・戦時中の暮らし ・東南海地震及び台風豪雨の記憶
回	第1回	第2回																	
日時	令和6年10月20日(日)13時30分～15時	令和6年11月10日(日)13時30分～15時																	
会場	中野町所在の飲食店「食処 楓」	同左																	
参加人数	24名	26名																	
講話内容	<ul style="list-style-type: none"> ・戦前から戦後の日々の暮らし ・材木屋の好景気に沸いた時代 ・天竜川での生業 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのお店で賑わったまち ・戦争体験談 ・戦時中の暮らし ・東南海地震及び台風豪雨の記憶 																	
(6) 総事業費	142,712円	(7) 補助金額	71,000円																
(8) 評価	項 目	ランク																	
		A	B	C															
	1 事業目的の達成度	(高)	普通	低い															
	2 地域資源の活用度	(高)	普通	低い															
	3 地域への貢献度	(高)	普通	低い															
	4 財政支援の妥当性	(高)	普通	低い															
	5 費用対効果	高い	(普通)	低い															
(9) 意見等	<p>・当初の想定を上回る参加者があり、「お話し」の内容をまとめた冊子も作成されたことから、事業目的の達成度の評価は高い。</p> <p>・中野町の住民に講話を依頼し、また開催場所も中野町であったことから、地域資源の活用度は高い。</p> <p>・地域に特化した記憶は財産となることから、地域貢献度は高い。</p> <p>・行政のレベルでは把握が困難な地域資源の発掘及び活用は公益性が高く、財政支援の妥当性は高い。</p> <p>・このような特定の地域限定の記憶を継承する試みは地域力向上事業ならではの試みである。</p> <p>・今回作成した冊子と動画データを活用し、貴重な記憶がさらに広がっていくことに期待する。</p>																		

第10号様式(第10条関係)

事業実績書

事業名	なかのまちのお話し会
事業主体名 (共催、後援、協力等)	中野町を考える会
実施時期	令和6年8月1日(木)～令和7年2月28日(金)
実施場所	食処 楓
参加人数	団体スタッフ3名、参加者50名(第1回24名・第2回26名)
事業の内容	<p>下記の日時で、語り部に中野町在住の94歳の女性、佐口ふさ子さんを、聞き手に同じく中野町在住の大庭知世さんをお迎えし、縁側での昔語りを、みんなで聞くという会を開催しました。</p> <p>・第1回 10月20日(日)13時半～15時 / 場所 食処 楓 戦前から戦後の日々の暮らし、材木屋の好景気に沸いた時代、天竜川での生業</p> <p>・第2回 11月10日(日)13時半～15時 / 場所 食処 楓 多くのお店で賑わったまち、戦争体験談、戦時中の暮らし、東南海地震や台風豪雨の記憶</p> <p>※ 事業風景、チラシなどは別紙</p>
事業目的の達成度	2回のお話の中で、地域の重要な歴史の記憶を語っていただいた内容を、動画で記録ができました。失われつつある戦前戦中戦後の中野町地域のまちの姿を、生き生きと語っていただき、記録に残すことができました。
地域資源の活用度	語り部、聞き手ともに中野町に在住している方をお願いできました。特に、語り部の佐口ふさ子さんは、ご高齢でありながら、非常に優れた記憶力を持ち、また、ご本人が収集した資料や、当時の写真なども提供してくださりました。聞き手も、地域在住の学校の校長先生にお願いでき、語り手の記憶を上手に引き出してもらえました。
地域への貢献度	小学生向けの冊子を作成したので、総合学習の事業で、活用していただけると思います。中ノ町小学校では、地域の歴史の学習やまち探検などを行っており、また、学習発表会などでも地域に関する調べ学習の成果を発表することがあるため、その際に副読本として活用できます。
財政支援の妥当性	今後、広く活用できる動画の撮影と文字起こしができたため、昭和初期以降の地域の貴重な記録として、後世に残すことができました。行政の事業ではお願いすることが難しい地域人材を活用し、更に動画の撮影までさせていただき、文字起こしもできたため、財政支援に対する事業効果は十分に発揮されたと思います。
費用対効果	小学生向けの冊子については、1,300部作成できたため、在校生は勿論、今後しばらくの間、総合学習の授業の副読本で使用が可能です。また、動画については、地域の貴重な昭和初期からの歴史についての話がわかりやすく語られており、成果物に対するコストを考えると非常に費用対効果が高いと思います。
今後の方向性	当該事業は継続したいとは考えますが、今回作成した動画やテキストデータのブラッシュアップを行い、大人に向けた資料の作成をしたいと思います。なお、他地域で同様の事業を実施したい場合に、ノウハウの提供を行いたいと思います。
備考	戦前、戦中の体験談を聞き取れる機会はここ数年しかありません。是非、行政も広く当該事業を市域全体で実施していただけたらと思います。

第11号様式（第10条関係）

収支決算書

1 収入の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	71,000	71,000	0	0	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
計	142,712	142,000	2,712		

2 支出の部

単位：円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償費	6,000	6,000	0	0	3,000円×2回
消耗品費	5,792	10,000		△4,208	テキストデータ用記憶媒体など
印刷代	24,920	20,000	4,920		チラシ・小冊子
委託料	100,000	100,000			撮影・AI文字起こし作業一式
使用料及び賃借料	6,000	6,000	0	0	3,000円×2回
計	142,712	142,000	712		

助成事業 No. 4

＜ 令和6年度 ＞ （ 中央区 東行政センター ）

(1) 事業名	FAMIFES・はままつ FAMILYマルシェ	(2) 採択回数	1回目 <small>(補助率50%以内)</small>											
(3) 実施団体名	FAMIFESコミュニティ													
(4) 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・東地域の子育て世代が気軽につながり、情報を得て、交流し、子育て世代の活性化をはかるため。子育ての楽しさを世に伝え、東地域でつながり子育てを楽しむ機会を設け、子どもたちに東地域での様々な学び、経験の場を提供したい。親子で繋がる機会を設ける。こどもたちの発表の場を作る。 													
(5) 事業の成果 (内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの才能を伸ばす場として、東地域に展開されているものを中心に様々な習い事があることを発信した。 ・子育て中の親が活躍する場として、出店の機会を提供した。 <p style="margin-left: 20px;">【イベントの概要】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">イベント名</td> <td>FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施時期</td> <td>令和6年12月1日(日)10～16時</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実施場所</td> <td>浜松市産業展示会館</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参加人数</td> <td>約1,500名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児から小学生の年代向けの教室 ・工作、料理のワークショップ ・ステージでのパフォーマンス(子どもによるダンス、演奏、チャアリーディング等) ・遠州織物をテーマにしたファッションショー </td> </tr> </table>				イベント名	FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ	実施時期	令和6年12月1日(日)10～16時	実施場所	浜松市産業展示会館	参加人数	約1,500名	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から小学生の年代向けの教室 ・工作、料理のワークショップ ・ステージでのパフォーマンス(子どもによるダンス、演奏、チャアリーディング等) ・遠州織物をテーマにしたファッションショー
イベント名	FAMIFES・はままつFAMILYマルシェ													
実施時期	令和6年12月1日(日)10～16時													
実施場所	浜松市産業展示会館													
参加人数	約1,500名													
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から小学生の年代向けの教室 ・工作、料理のワークショップ ・ステージでのパフォーマンス(子どもによるダンス、演奏、チャアリーディング等) ・遠州織物をテーマにしたファッションショー 													
(6) 総事業費	704,765円	(7) 補助金額	352,000円											
(8) 評価	項目	ランク												
		A	B	C										
	1 事業目的の達成度	(高い)	普通	低い										
	2 地域資源の活用度	(高い)	普通	低い										
	3 地域への貢献度	(高い)	普通	低い										
	4 財政支援の妥当性	高い	(普通)	低い										
	5 費用対効果	高い	(普通)	低い										
(9) 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り約1,500名の来場者があり、かつ事故等もなくイベント運営がなされたことから、事業目的の達成度は高い。 ・実施団体も東地域の子育て世代の住民から構成され、東地域に拠点を置く習い事教室が出展するなど、地域資源の活用度は高い。 ・入場料の設定や出展料の見直し等で自力開催が期待できる規模であることから、財政支援の妥当性は普通でよい。 ・イベントの開催の開催を「きっかけ作り」として評価し、費用対効果は現時点で普通とした。 ・子育て環境の充実という課題に対し、子育て世代が自ら課題を提起し、発意・企画運営したイベントであることを評価する。 ・実績報告書にも記載があるように、支出の約7割を使用料及び賃借料(会場使用料やステージレンタル料等)が占めており、予算の配分にはさらなる工夫を期待する。 ・「子育て世代」は交代していくものであるから、今後も継続して事業を行うことによるその効果の広がりを期待する。 													

第10号様式(第10条関係)

事業実績書

事業名	FAMIFES・はままつ FAMILY マルシェ
事業主体名 (共催、後援、協力等)	FAMIFES コミュニティ 協賛・木村産科・婦人科 後援・ケーブルテレビ ウィンディ
実施時期	令和6年10月1日(火)～令和6年12月31日(火) イベント実施日令和6年12月1日(日)
実施場所	浜松産業展示館 第1展示場、屋外スペース
参加人数	団体スタッフ6名、参加者1,500名
事業の内容	<p>*実施した事業内容を具体的に記入してください。チラシ、プログラム、写真、新聞記事等の参考資料を添付してください。</p> <p>子育てを楽しむ機会、子どもとお母さんの活躍の場の提供をした。 幼児から小学生くらいの子ども向け教室の体験、こどもが体験できる工作、料理、ものづくりなどのワークショップ、親子で楽しめるワークショップ、お母さん向けの学びや体験、こどもたちの活躍の場の提供(ステージにてダンス、演奏、空手、チアなどの発表)、お母さん向け子育て講演、遠州織物を広めるファッションショー、その他いろいろな習い事を知る機会の提供をした。 当日の天候から空調を使用しなかった。警備も4人にしてもらい、事故などなく無事に開催できた。</p>
事業目的の達成度	<p>*当初設定した事業目的は達成できましたか。理由も含め記入してください。</p> <p>1000人ほどの家族連れに来場いただき、多くの方に楽しんでもらう機会にすることができた。参加者どうしの交流や、つながりをつくることができた。こどもたちが発表の場を持ったことで、達成感や成長を感じることができた。ステージの参加者からも、活躍の機会をもてたことが良かったという声が多く聞かれた。東地域を中心に様々な習い事教室があることを知ってもらい、子どもたちの才能や個性を伸ばす一助となった。また出店する方も子育て中の方が多く、お母さんの活躍の場も持てたことが良かった。</p>
地域資源の活用度	<p>*区内のどのような地域資源(特産品、自然、文化資産、人材など)をどの程度活用できたか記入してください。</p> <p>東地域の子育て中のお母さんや子どもたちの活躍の場を作れた。 遠州織物を使ったファッションショーが盛り上がり、遠州織物を知ってもらう機会を作れた。</p>

<p>地域への 貢献度</p>	<p>*事業実施により地域の課題解決につながりましたか。住みよい地域づくりにどう結びつきましたか。</p> <p>東地域の子育て世代が明るく活性化する機会になったと思う。多くの親子で楽しめる機会を作ることができた。つながりをつくる機会、習い事を知る機会も作れた。子育てを楽しむ機会は十分に作れたと思う。</p>
<p>財政支援の 妥当性</p>	<p>*行政施策と差別化を図り、特色のある事業ができましたか。補助金をどのように有効活用しましたか。</p> <p>補助金は会場使用料とステージをレンタルに有効活用した。広い会場を借りることができ、東地域を中心に多くの人に来場してもらうことができた。子どもたちがステージで思い切り発表することができた。初めての大規模なイベント実施を助成していただき、無事に終わることができた。</p>
<p>費用対効果</p>	<p>*事業実施により得られた効果と、かかった経費のバランスはどうか記入してください。</p> <p>初めてのことばかりで手探りでの計画、実施となったため、当初の想定と実際の状況で大きな差があったが、目的としていた「東地域の子育て世代・子どもたちの交流・活躍の場」を提供できたと思う。 会場使用料とステージに主にかかっているが、ステージを有効に使い、多くの人にたのしんでもらえたので妥当と思う。</p>
<p>今後の方向性</p>	<p>*来年度以降も事業を継続していくか記入してください。</p> <p>参加者から多くの感謝や応援の言葉をもらい、この事業実施に大きな意義があったと感じられた。子どもたちが生き生きと活躍する姿をたくさん見ることができ、次回に向けて励みたいという声もいただいた。また多くの子どもたち、ご家族に楽しんでもらうため、来年度以降も実施したい。</p>
<p>備考</p>	

第11号様式(第10条関係)

収支決算書

1 収入の部

単位:円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
補助金	352,000	411,000		▲59,000	地域力向上事業 (市民提案による 住みよい地域づく り事業費補助金)
計	704,765	822,560		▲117,795	

2 支出の部

単位:円

区分	決算額	予算額	比較		経費内訳 (単価・数量)
			増	△減	
報償金	10,000	10,000			講師謝礼1人
賃金	25,000	50,000		▲25,000	スタッフ4人
需用費	食料費	31,598		▲18,402	出演者へブレ ゼントお菓子 1人140円程度 ×200人分 お礼プレゼン ト2,352円
	印刷 製本費	5,111	6,000	▲889	チラシ印刷 1,000部
	消耗品	31,954	20,000	11,954	紙698 延長コード等 11,912 カーペット

						5902 幕 13,442
	郵便料	3,680	0	3,680		チラシ郵送 18 通分 3,680
役務費	手数料	3,080	1,000	2,080		振込手数料
	保険料	10,430	10,430			イベント保険
委託料		88,000	90,000		▲2,000	警備 4 名
使用料及び賃借料		495,912	585,130		▲89,218	展示館使用料 200,130 電気・水道・備品・ 屋外使用料 54,782 暖房費 0 ステージレンタル 240,000 公会堂使用料 1,000
計		704,765	822,560	17,714	▲135,509	

...